



**観光 教育問題 諸課題**  
堀口 順  
(市民クラブ)

**質問** 高崎自然歩道の整備状況は。また、観光資源として自然歩道をどのように活用していくのか。

**回答** 高崎自然歩道の整備は5カ年で実施する予定で、本年度は山名城址と根小屋城址周辺の眺望確保のための樹木伐採や、案内看板の更新などを行う。今後は展望デッキの改修や休憩スペースの設置等の計画があり、トイレの新設も検討している。また、自然歩道周辺には上野三碑である山上碑、金井沢碑といった史跡のほ

か、白衣大観音や染料植物園、鼻高展望花の丘などの観光施設もあることから、自然歩道を軸に観音山丘陵全体を一つの観光資源と捉え、SNS等を活用して県内外にPRしていきたい。

**質問** 本市における非認知能力教育の取り組みは。

**回答** 各学校の授業の中で自ら課題を持ち、仲間と協力しながら解決する学習の流れを設定することで、児童・生徒の非認知能力の育成に取り組んでいる。



**訪問等の恵質商法**  
金子 和幸  
(日本共産党)

**質問** 消費生活センターに寄せられる相談への対応方法は。また、被害防止のための注意喚起は。

**回答** 消費生活センターでは、専門の資格を持つ相談員が、基本的には相談者自身で問題解決できるよう助言や情報提供を行っている。また、消費者被害の防止のため、焦らされてもすぐ

に契約しない、複数の見積もりを取るといった契約に対する基本的な姿勢の周知に努めている。

**質問** 本市における不登校児童・生徒への対応は。

**回答** 各学校では、担任等による家庭訪問や教育相談、スクールカウンセラーなどによる支援を行っているほか、タブレットの活用等

より児童・生徒の心身の変化の早期発見に努めている。また、教育支援センター等と連携し、居場所や学びの場の確保にも努めている。

**本市における部活動の地域移行を進める上で、部活動の教育的意義の継承が必要と考えるが、本市の考えは。**

**回答** 部活動の地域移行が進むことにより、これまで培ってきた教育的意義や効果が損なわれてしまうのではないかとこの意見があることは承知している。本市としては、部活動の教育的意義を地域クラブ活動に継承するために、学校

さらに、教育センターにおいては、専門職員による相談対応など、一人一人に寄り添った支援を行っている。

**高橋 美奈雄**  
(市民クラブ)



と地域クラブ、保護者等とのさらなる協働体制の構築が重要と考えている。

**回答** 本市としては、現在活動している部活動を引き続き支援しながら、地域移行を進める上での課題を関係機関等と共有し、連携しながら解決に向けて検討していきたい。また、さまざまな状況にある生徒や保護者、学校のニーズに寄り添い、子どもたちの活動場所が失われないように配慮し、段階的に進めていきたいと考えている。



**本市のスポーツ振興**  
丸山 寛  
(公明党)

**質問** ソフトボールシティ高崎として、5年後の五輪を見据えたソフトボールの普及、発展に向けた構想は。

**回答** JDリーグの2チームが拠点を置く本市では、ソフトボールシティを掲げ、ソフト・ハード両面から盛り上げを図っており、令和5年6月には将来の五輪選手が羽ばたく大会を目指し、15歳以下の国際大会を初開催した。このように、市民が競技を見る機会をつくるほか、競技を楽しむ場として市民大会の開催や企業チ

**質問** 産後パパ育休の取得時に、高崎通貨を活用した市独自の支援を行う考えは。

**回答** 本市では、令和4年度から各種事業で高崎通貨を用いた給付を行っている。産後パパ育休に係る支援を行うことになった場合には、対象者がキャッシュレス決済の利用率が高い世代であるため、高崎通貨での給付が有効だと考えられる。



部活動の教育的意義の継承を



**だるまミュージアム(仮称)**  
三島 久美子  
(たかさき未来)

**質問** 高崎だるまミュージアム(仮称)の構想・検討に当たっては、少林山達磨寺との連携が必要不可欠と考えるが、本市の考えは。

**回答** 高崎だるまの歴史や伝統を将来にわたってつないでいくことは、高崎だるまミュージアム(仮称)の大きな役割の一つである。今後、高崎だるまを広く周知できるように施設の内容について研究していく過程で、少林山達磨寺の意向も伺いながら、あるべき連携の姿を模索していきたい。

**質問** 堤ヶ岡飛行場跡地の開発構想に当たり、市民の理解の醸成のために本市はどう取り組んでいくのか。

**回答** 当該跡地の所有者を対象とした意向調査の結果、約9割が新しいまちづくりを理解を示していることが分かった。今後、都市計画の手続きを進めるに当たり、地元区長や地権者への説明、事業の説明会、公聴会や都市計画審議会など、進捗状況に応じ、丁寧な説明を行う場を設ける予定である。



**本市企業への海外進出支援**  
渡辺 隆宏  
(新風会)

**質問** タイ・バンコクの国際展示会に初出展した経緯と展示会の反響は。

**回答** 今回のタイ・バンコクでの展示会は、令和4年に同じくバンコクで開催した本市のPRIイベントが大好評で、本市企業からの要望も多かったことから出展を決めたものである。この展示会はASEAN最大級

の展示会であり、出展者からは、タイは日系企業間のつながりが強く海外展開しやすいなどの声があり、今後の海外展開につながる可能性を持つことができた。

**質問** 帰国後に市内企業に対して知見やノウハウの共有は図られたのか。

**回答** 本市には、古くから製造業の組合や若手ものづ



**高崎車における軽自動車税(種別割)の課税免除**  
国際交流ボランティア支援  
新保 克佳  
(公明党)

**質問** 中古商品の軽自動車税の種別割は、ナンバープレートがある場合は課税、ない場合は課税免除となり、取り扱いに差が生じているが、本市において一律で課税免除とする考えは。

**回答** 他の自治体においてナンバープレートが交付されている商品車であっても使用していないことが客観的に確認できる場合、課税を免除する例があることは

くり経営者の団体などがあり、各団体の定例会などで成果が報告され、広く共有できていると認識している。また、海外出展の経験や意

義が団体に所属する若い経営者にも伝わり、海外フェアに積極的に参加する企業が増えていく状況である。



承知している。本市では、こうした他市の状況を踏まえ、税負担の公平性の観点から、取り扱いを研究していきたいと考えている。

**質問** 高崎市国際交流協会のボランティア活動に対し、交通費などを直接的に支援する考えは。

**回答** ボランティアの人には、さまざまな活動に自発的に参加してもらっており、協会では研修にかかる交通費などの費用を支援している。本市としては、今後とも協会と連携し、ボランティアのスキルアップと育成を図ってきたい。



**おが粉の産後パパ育休支援**  
吉井物産センターの活性化に向けた取り組み  
角倉 邦良  
(無所属)

**質問** おが粉の高騰を受け、小規模な菌床キノコ農家に對して、本市独自の支援はできないのか。

**回答** 本市では物価高騰対策として、農畜産物を出荷している全農家および認定農業者に給付金を支給しており、キノコ農家も対象としている。おが粉の問題は、価格上昇はもとより、安定的な供給体制という根本的な課題解決が不可欠であるため、県や国が対応すべきものと考えている。

**質問** 吉井物産センターの敷地内施設を柔軟に利用できるような取り組みや、施設の改修を行う予定は。

**回答** 施設内の花木販売スペースは、老朽化に伴う更新と利用者の休憩場所として活用したいとの提案があり、現在改修に向けた協議を進めている。調理実習室と研修室、多目的ホールは国の補助金を活用した施設であるため、指定管理者から具体的な提案を受ける中で、有効に活用できるように国と協議を行っている。



国際交流協会による日本語教室